



街の木々がようやく色づき始めたと思えば、もう師走。日々、寒さが深まる年の瀬ですが、皆様体調崩されぬようご自愛ください。



Post-CC OSCE

7月20日(土)に臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination; Post-CC OSCE)が行われました。Post-CC OSCEは2020年度より全国で正式実施されていますが、本学では2019年の全国トライアルから実施しており、今年で6回目です。本試験では、ある症状を訴える模擬患者さんに、臨床実習で経験を積んだ医学部6年生としてどう対応できるかが評価されます。

医学教育センターでは、事前に受験する6年生と内部評価者それぞれを対象とした説明会を行い、試験の概要や注意点などを確認しました。

機構派遣監督者や外部評価者を交えた厳粛な試験であり、運営上、まだ改善すべき点もありますが、大きなトラブルなく試験を執り行うことができました。

内部評価者・模擬患者としてご協力頂きました教職員および事務職の皆様、ありがとうございました。何かお気づきの点等ございましたら遠慮なくご連絡ください。

FD講習会

医学教育センターでは、年に数回FD研修会を開催しています。FDとはFaculty Developmentの略で、教育機関における教職員の意識改革とともに実践的なスキルアップを目指した組織的かつ自発的な取り組みを指します。カリキュラムやシラバスなど学内の教育コンテンツに関する講習会の他、外部講師を招いて医学教育に関する興味深い研修会を企画しています。

今年度第一回目は、9月10日(火)17時より新任の教員の先生方を対象とした「新任教職員オリエンテーション～医学教育の現状と課題について～」を医修館1階第1講義室にて開催しました。

本FD講習会は、eYUMEホームページ内にアーカイブを残しておりますので、まだ視聴されていない新任の先生方はぜひご視聴ください。

尚、**FD研修会は年1回以上の出席が必須**となっています。今回の講演会も含めた過去のFD研修会の動画は、電子シラバスeYUMEの『動画配信(教員専用)』からいつでも視聴可能ですので、教員の皆様、是非ご視聴下さい(学内からのアクセスに限ります)。動画へのアクセスログにて、出席とカウントさせていただきます(動画を見た旨をご報告いただく必要はありません)。

★eYUMEホームページ→ <https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2024/>

気になるトピック、取り上げて欲しいテーマなどありましたら、ぜひセンターまでご連絡ください。



医学部医学科カリキュラム委員会

9月30日(月)に、令和6年度 第1回 医学部医学科カリキュラム委員会が開催されました。カリキュラム委員会は、医学科長、教学委員会の先生、医学教育センター長をはじめとした学内教員からなる委員の他に、学生自治会会長、各学年総代、および医学科長が認めた広い範囲の外部の教育関係者にご参加頂き、開催されました。eYUMEを用いた学修成果基盤型教育、本医学科の理念・目的、目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーと医学専門群におけるマイルストーンについて協議を行いました。学生や外部の教育関係者からも幾つか意見が出され、活発な討論ができたのではないかと思います。今回の討論を本学の医学教育の更なる発展につなげていきたいと思ひます。

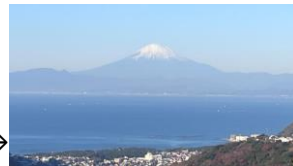
第49回医学教育者のためのワークショップ

12月1日～12月4日、第49回医学教育者のためのワークショップに参加してきました。この会はずもと「富士研」と言われていた会だけあって、会場は富士山の見える素晴らしい立地でした。4日間、好天に恵まれ絶好の富士山鑑賞日和でしたが、プログラムは朝は8時30分から夜は21時まで、みっちりスケジュールが組まれており、さらには会場も地下だったため、残念ながら、早朝の富士山のみ目に焼き付けてきました。

活動としましては、まず、参加者全員での他己紹介をしました。医学教育に精通された先生から私のようなビギナーまで、また卒前・卒後問わず、あらゆるフェーズで医学教育に関わる先生が全国各地から集結した会で、他己紹介の時点で大いに盛り上がりました。その後は、グループごとに分かれ独自の大学を創立し、オリジナル医学教育プログラムの作成から評価方法までを立案・発表・討論し、理解を深めました。さらには、グループワークの合間に、講演会も盛り込まれ、朝から晩まで医学教育のことだけを考へて過ごした濃密な4日間でした。私が所属したAチームは、「未来創生大学」と銘打ち、「創造性」をキーワードに、これまでの医学教育の型にはまらない、社会のニーズに気づき、社会のニーズを創生していく独自のプログラムを作成し、マイルストーンや学修方略の作成、評価方法の立案方法などを実践を通して学びました。いつか、山口大学でも、このプログラムを応用出来ればと思ひます。



←Aチームでの記念写真 会場から見えた富士山→



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp